

「向日市一般廃棄物処理基本計画改訂版（案）」パブリックコメント （意見 1 人から、のべ 4 件）

分類	意見の概要	向日市の考え方
分別区分	・「紙布類」が燃えるごみの約半数を占めていることから、古紙を資源ごみとして回収することで最終処分量は大きく削減できるのではないか。	ごみの減量化を推進するためには、紙布類の再資源化が必要であることは認識しておりますことから、今後、設置を予定しております廃棄物減量等推進審議会において、将来的なごみの分別や古紙・布類を含めた集団回収等について協議してまいりたいと考えております。
	・集団回収の拡充・促進支援に向けて、市内の自治会や子ども会、PTAの団体数をはじめ、各団体の意見や要望等について実態調査は行っているのか。また、集団回収を行っていない地域については自治会の体制整備を含め行政が先導して積極的に対応してほしい。	
	・今回の資源化目標は、今後、市が取り組むべき理念とかけ離れているのではないかと。	
ごみの有料化	・有料化の検討が必要とあるが、なぜ、向日市として踏み込んだ提起をしなかったのか。	ごみの有料化については、向日市、長岡京市、大山崎町の乙訓2市1町に加え、乙訓環境衛生組合の考え方を統一する必要がありますことから、今後関係機関と協議してまいりたいと考えております。